

青少年スポーツリーグの再開手順

最近の更新

2020/8/20：本手順が適用されない項目のリストから大学スポーツを削除するために更新されました。

2020/8/12：重労働を行う際にプレーヤーはフェイスカバーを取り外すことが可能であるとの事項を更新しました。（変更は黄色で強調表示）

2020/8/6：青少年はペアでボールを蹴ったり投げたりすることができるが、これをグループアクティビティとして行わないことを明確化するために更新されました。（変更は黄色で強調表示）

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、科学と公衆衛生の専門知識に基づく段階的なアプローチを踏みながら特定の施設が安全に再開できるようにしています。以下の要件は、州公衆衛生担当官の命令により公開が許可されている青少年スポーツプログラムに固有のもので、州知事がこれらの特定のプログラムに課す条件に加えて、これらの種類のプログラムは、この青少年スポーツのチェックリストに記載されている条件にも準拠している必要があります。

この再開手順は、レクリエーション目的の青年スポーツリーグ、クラブスポーツ、遠征を伴うスポーツ、および TK-12 学校の生徒にサービスを提供する私立および公立学校が主催するスポーツに適用されることに留意してください。これは、成人のスポーツリーグ、または州の公衆衛生担当官の命令に従い閉鎖されている、アマチュアの成人スポーツへの適用を目的としていません。追って通知があるまで、すべての青少年スポーツ活動は屋外で行われる必要があります。

注：本文書は、追加情報やリソースが入手され次第更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> にアクセスして、本文書が更新されていないか確認してください。

本チェックリストの内容：

- (1) 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための措置
- (3) 感染防止対策
- (4) 従業員および市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの公平なアクセスを確保するための措置

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

すべての青少年スポーツチームは、以下に記載されているすべての適用可能な措置を実施し、実施されていない措置は適用されない理由を説明する準備をする必要があります。

青少年スポーツチーム/リーグ名:

コーチ名前と施設住所:

A. プレーヤーとコーチの安全を保護するための措置

- 各プレーヤー間およびプレーヤーとコーチの間では物理的距離を常に6フィート維持している。青少年スポーツ活動は、すべてのプレーヤーとコーチが常に少なくとも6フィートの物理的距離を維持できる活動に限定されており、激しい運動中には8フィートの距離を取る。これらの活動には、トレーニング、コンディショニング、スキル構築活動が含まれるが、これらに限定しない。身体の接触を伴うスポーツは、COVID-19 のため以前の練習方法と同じように練習することはできない。
- すべてのプレーヤー、コーチ、家族、および訪問者は、水泳、シャワーを浴びる、食事や飲み物をとる、**重労働を行う（他者から8フィート以上の距離を取った状態で）**、または一人で身体を動かす（独自で行うジョギングなど）時以外は、常に鼻と口を覆う適切なフェイスカバーを着用する必要がある。これは、すべての成人と2歳以上の子供に適用される。一方向弁付きのマスクは使用しない。医学的状態、精神的健康状態、またはフェイスカバーの着用を妨げる障害が理由で医療提供者からフェイスカバーを着用しないように指示された個人のみが、フェイスカバーの着用を免除される。呼吸困難が認められた場合、プレーヤーは運動を中止し、マスクまたはフェイスカバーが濡れているためにプレーヤーの呼吸を妨げる場合は、フェイスカバーを取り替える。激しい運動で気流を制限するマスク（N-95 マスクなど）は、運動には推奨しない。
- **スクリーニング**を、プレーヤーやコーチが青少年スポーツ活動に参加する前に行っている。チェックには、発熱、咳、息切れ、呼吸困難、発熱または悪寒に関する確認、およびその人物が、新たにコロナウイルス（COVID-19）に感染していることが判明、または過去14日間に感染している疑いのある人物との接触があったかどうかを確認する必要がある。これらのチェックは、個人やオンラインチェックインシステムなどの別の方法を使用するか、または施設の入口に**掲示**し、これらの症状のある訪問者が施設に入らないように指示をしている。
 - 過去14日間に症状がなく、COVID-19の既知または疑いのある症例との接触がない場合は、その日の参加が許可される。
 - その人が過去14日間にCOVID-19の既知または疑いのある症例に接触したことがある場合は直ちに自宅に戻し、自宅での隔離を促す。ph.lacounty.gov/covidquarantineにある検査手順を提供する。
 - 個人が上記の症状のいずれかを示している場合は、すぐに自宅へ返し、隔離するようにする。ph.lacounty.gov/covidisolationにある隔離の手順を参照する。
- 追って通知があるまでは、すべての青少年スポーツ活動は屋外でのみ行われるものとする。チームは、天蓋またはその他の日よけを利用できますが、天蓋または日よけの側面が閉じておらず、十分な屋外の空気の動きがある場合に限る。
- 現在、トーナメント、イベント、または大会を含むすべての青少年スポーツイベントは許可されていない。同じチームのプレーヤー間の練習ゲーム（チーム内ゲーム、スクリムマゲ、および/または試合）は、非接触型のスポーツでのみ許可されている。非接触型のスポーツには、ゲーム、スクリメージ、または試合のすべてのプレーヤーが、競技中に互いに8フィートの距離を維持できるスポーツが含まれる（例えば、シングルテニスの試合、ゴルフの試合、一部の陸上競技など）。
- プレーヤーがフィールド外またはコート外に座っているエリア（ベンチ、ダグアウト、ブルペンなど）は、プレーヤーと従業員がそのエリアにいる間に6フィートの物理的距離を維持できるように追加の座席を再構成する必要がある。
- 青少年スポーツプログラムでは、感染のリスクを制限するために、プレーヤーが安定したコホートに留まるようにする必要がある（[学校およびコホートに関するCDCガイダンス](#)を参照）
- 少人数のグループ向けに青少年スポーツ活動を再設計し、物理的距離を維持するために練習と

遊び場を再配置することを検討する。

- プレーヤーは、可能な限り、個人用具（例えば、バット、ゴルフクラブ、ラケット）を使用して練習を行い、用具を共有しないようにする。プレーヤーは、スキル構築練習の一環として、2名のプレーヤーの間でサッカーボールを蹴ったり、野球、フットボール、フリスビーを投げたりするなど、限定した用具を共有することができる。ただし、この方法での用具の共有は、グループ活動としてではなく、特定のプレーヤーのペアでのみ行う。用具を共有する必要がある場合は、COVID-19 が広がるリスクを減らすために、各プレーヤーの使用ごとに消毒している。
- プレーヤー、コーチ、および従業員は、不必要に物理的な接触を避け（例えば、ハイタッチ、握手、こぶしなど）、病気が広がる可能性を制限している。
- 屋内バスルームとロッカー施設にアクセスできるスポーツチームは、手指衛生、着替え、シャワー、トイレの利用を目的としてアクセスできる。ロッカールームまたはトイレへの訪問をずらして、屋内での物理的距離を確保している。
- 使用中のロッカールームまたはトイレは、次のスケジュールで頻繁に消毒される：
 - ロッカールーム _____
 - トイレ _____
 - その他 _____
- プレーヤーとコーチは、手洗いができない場合手指消毒剤を使用する必要がある。消毒剤は完全に乾くまで手でこするようにする。注：特に手が明らかに汚れている場合、頻繁な手洗いは手指消毒剤の使用よりも効果的である。
- 9歳未満の子供は大人の監督の下で手の消毒剤を使用する必要がある。の誤飲した場合は中毒事故管理センターに連絡する：1-800-222-1222。監視されていない場面で子供の使用がある場合には、エチルアルコールベースの手指消毒剤を利用することが好ましい。イソプロピルベースの手指消毒剤は毒性が高く、皮膚から吸収される恐れがある。
- プレーヤーに自分で事前に充填された再利用可能、または購入した水筒を持参するように促す。水飲み場は、水筒に水を入れる時にのみ使用でできる。プレーヤーは同じ飲料容器から飲んだり、飲料を共有したりしない。
- 洗剤を選択するときは、環境保護庁（EPA）承認リスト「N」の COVID-19 に対して使用が承認されたものを使用し、製品の指示に従っている。これらの製品には、喘息保持者にとって安全な成分が含まれている。
- 適切な希釈率と接触時間の表記に従って、新たなウイルス病原体に対して効果的なラベル付けされた消毒剤を使用している。化学物質の危険性、製造元の指示、および安全に使用するための Cal/OSHA 要件に関するトレーニングを従業員に提供している。
- 現場の清掃と消毒を担当する管理スタッフは、手袋、眼の保護具、呼吸器の保具、および製品の説明に必要なその他の適切な保護具を備えている必要がある。すべての商品は子供の手の届かない場所に保管し、立ち入りが制限されたスペースに保管している。
- すべての従業員は、病気の場合、または COVID-19 感染者に曝された場合、出勤しないように指示されている。従業員は、該当する場合、自己隔離と検疫に関する公衆衛生局のガイダンスに従わなければならないことを理解する。病気で自宅待機することによって従業員が罰せられることがないように、職場休暇ポリシーを見直し修正する。
- 従業員には、受給資格があれば経済的に自宅待機しやすいよう、雇用者または行政が提供する休暇給付金に関する情報が提供されている。[ファミリーファーストコロナウイルス対策法](#)に基づく従業員の病気休暇の権利、労災補償給付金における従業員の権利、および[州知事令 N-62-20](#)

に基づく COVID-19 の労働関連の推定を含む、[COVID-19 における病気休暇および労災補償を支援する行政プログラム](#)に関する追加情報を参照する。

- 1 名以上の従業員、コーチ、またはプレーヤーが COVID-19（症例）について陽性反応を示す、または症状が一貫していると通知された場合、チームは、症例を[自宅に隔離](#)するための計画またはプロトコルを用意し、職場でケースにさらされたすべての従業員に対し即時に[自己検疫](#)を要求している。チームまたはリーグの計画では、すべての隔離された個人が COVID-19 に検査するための手順を検討する必要がある。更なる COVID-19 管理対策が必要になる可能性のある追加の職場曝露があるかどうかを判断するには、[職場での COVID-19 への対応](#)に関する公衆衛生ガイダンスを参照してください。
- 従業員が職場に入る前に、[従業員のスクリーニング](#)を行っている。チェック事項には、咳、息切れ、呼吸困難、発熱または悪寒、そして過去 14 日間に COVID-19 の感染が判明している人と接触しているかが含まれている必要がある。これらのチェックは、従業員の出勤時に遠隔または対面で行う。体温チェックは、可能であれば作業現場でも行うべきである。14 日以内に青少年スポーツチームのメンバー間で 3 件以上の症例が確認された場合、コーチまたはリーグは、この発生を公衆衛生局に報告する必要がある：(888) 397-3993 または (213) 240-7821。クラスターが作業現場で特定された場合、公衆衛生局は、感染対策のガイダンスと推奨事項、技術サポート、およびサイト固有の対策を提供することを含むクラスターの対応を開始する。公衆衛生局症例マネージャーがクラスター調査として配属され、施設の対応を指導する。
- 人と接触する従業員には、鼻と口を覆う適切なフェイスカバーが無償で提供されている。人と接触する、または人と接触する可能性がある場合には、勤務時間中常にフェイスカバーを着用する必要がある。医療従事者からフェイスカバーを着用しないようにと指示されている従業員は、健康状態が許す限り、州の指示に従って下端にドレープの付いたフェイスシールドを着用する。顎の下の方でひだが身体にぴったりフィットしているものが好ましい。一方向弁付きのマスクを使用しないこと。従業員がプライベートオフィスでひとりの時、またはその従業員の身長より高い、しっかりとした仕切りのある作業スペースに 1 人でのときは、フェイスカバーを着用する必要はない。
- 従業員は、毎日フェイスカバーを洗うか交換するよう指示されている。
- 従業員、コーチ、青少年チームのメンバーは、次のような個人の予防行動を守るように求められている：
 - 病気のときは自宅にいること。
 - 症状が最初に現れてから少なくとも 10 日が経過するまで、および回復後少なくとも 24 時間は自宅にいること。これは、発熱を抑える薬を使用せずに熱が回復し、症状が改善することを意味する（例えば、咳、息切れ）。
 - COVID-19 の検査で陽性であったが症状がなかった場合：
 - 最初の陽性テストの日付から 10 日間、ただし
 - 症状が出た場合は、上記の指示に従う必要がある。
 - 石鹸と水で少なくとも 20 秒間頻繁に手を洗っている。石鹸と水が利用できない場合は、少なくとも 60% のアルコールを含むアルコールベースの手指消毒剤を使用している。食事の前、トイレを使用した後、咳やくしゃみをした後は手を洗う。
 - 咳やくしゃみをティッシュペーパーで覆い、ティッシュペーパーを処分してすぐに手をきれいにする。ティッシュがない場合は、（手ではなく）肘を使うこと。
 - 洗っていない手で口、目、鼻に触れない。
 - 病人との接触を避ける。
 - 電話やその他のデバイスなどのアイテムを共有しない。デバイスを共有する必要がある

場合は、共有の前後に、必ず消毒剤で拭くこと。

- 他のスタッフやプレーヤー間の作業距離を常に観察すること。特定の作業割り当てで必要な距離が短く、他の人と一緒にまたは近くで作業するときは、布製のカバーを着用しない限り、最低でも推奨されている6フィートの距離を常に維持する。
- 頻繁に触れる物体や表面を消毒している。これは、営業時間中に1時間ごとに行う必要がある。
- この手順のコピーは、すべての従業員、青少年、家族に配布されている。

B. 管理手順

- グループでの集まりは禁止されている。また、ベンチやテーブルは使用できないため、取り除かれる必要がある。
- 一般的に使用されるアイテムは定期的に消毒されている。
- 一般的に使用される機器は、使用前後に消毒されている。
- トイレは定期的に消毒されている。
- 水飲み場は、ウォーターボトルにのみ使用できる。

C. 監視の手順

- 感染管理、物理的距離、およびフェイスカバーの使用に関する指示と情報の標識が施設全体に掲示されている。青少年スポーツプログラムのオンラインアウトレット（ウェブサイト、ソーシャルメディアなど）において、物理的距離、フェイスカバーの使用、およびその他の問題に関する明確な情報を提供している。
- 訪問者の中に呼吸器症状で病気の場合は、自宅にいるべきであることを示す標識が掲示されている。
- コーチとリーグマネージャーは、投稿された制限の遵守を監視している。
- 参加者は、これらの制限を遵守しない場合に退場するよう求める。

上記に含まれていない追加の対策は別のページに記載する必要があります。

青少年スポーツコーディネーターは本文書に添付してください。

この手順に関する質問またはコメントは
下記に連絡してください:

青少年スポーツ
リーダーシップ
の連絡先名:

電話番号:

最終更新日: